

目 次

「蓄電・水素技術と電気事業 一般社団法人 電気協同研究会 主催
～蓄電技術の動向と電力系統・需給への影響～」 平成 30 年度研究討論会報告書

第 1 章 平成 30 年度 電気協同研究会 研究討論会の概要	(3)
1-1 実施概要等	(3)
1-2 主催者および来賓あいさつ	(3)
1-3 講演の概要	(5)
第 2 章 研究討論会講演	(9)
2-1 基調講演 「低炭素社会に向けた蓄電技術への期待と課題」	(9)
一般財団法人 電力中央研究所 材料科学研究所 兼務 エネルギーイノベーション創発センター 研究参事 池谷 知彦 氏	
2-2 講演 「電力系統用蓄電池の技術動向と将来展望」	(20)
東芝エネルギーシステムズ株式会社 電力流通システム事業部 電力 I o T プロジェクトチーム 主幹 小林 武則 氏	
2-2-1 はじめに	(20)
2-2-2 蓄電池システムとは	(21)
2-2-3 電力系統で利用される代表的な蓄電池	(23)
2-2-4 蓄電池システムの重要な性能諸元	(25)
2-2-5 将来展望	(30)
2-3 講演 「蓄電から見た E V の技術動向と将来展望」	(33)
一般財団法人 日本自動車研究所 電動モビリティ研究部 主管 人見 義明 氏	
2-3-1 E V の動向	(34)
2-3-2 E V の蓄電池としての利用	(36)
2-3-3 E V の蓄電池としての将来	(38)
2-4 講演 「水素エネルギーの将来展望と課題」	(42)
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム (S I P) 「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター 住友化学株式会社 主幹 塩沢 文朗 氏	
2-5 講演 「蓄電技術の発展と普及に伴う電力系統の課題」	(50)
関西電力株式会社 送電カンパニー 企画部長 松浦 康雄 氏	
2-5-1 社会面、環境面の視点	(51)
2-5-2 技術革新の視点	(55)
2-5-3 制度面の視点	(57)
第 3 章 パネルディスカッション	(61)
「蓄電技術の発展を踏まえた電力系統の将来展望」	
3-1 再エネの大量導入 (再エネ比率 20 ～ 30%)	(61)
3-2 2030 ～ 2050 年の描く未来 (再エネ比率仮に 50% ～)	(65)
3-3 質疑応答	(69)
3-4 おわりに	(70)